



10th



20th



30th



40th



50th



60th



おかげさまで創立70周年。これからも皆さまとともに。

ミニ・ディスクロージャー誌
平成25年3月期 営業のご報告

2013

(平成25年3月31日現在)

設立	昭和18年3月
拠点	175店舗 (本支店156、特別出張所5、出張所12、仮想店舗2)
	店舗外現金自動設備 39,143か所 (うちコンビニATM「E-net」12,640か所、セブン銀行との提携による共同ATM 16,531か所、ローソンとの提携によるATM 9,712か所)
	両替出張所 3か所
海外	3店舗(ニューヨーク、香港、ロンドン)
	2駐在員事務所(上海、シンガポール)
従業員数	4,282人
総資産	11兆3,123億円
預金	9兆6,368億円
貸出金	7兆9,121億円
資本金	1,450億円
発行済株式数	875,521千株
総自己資本比率	連結14.05% 単体13.21%

※諸計数は原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しています。

当行が契約している銀行法上の指定紛争解決機関

一般社団法人全国銀行協会

連絡先 全国銀行協会相談室 電話番号 0570-017109 または 03-5252-3772

CONTENTS

- 2 創立70周年を迎えて
- 3 頭取インタビュー
- 5 70周年記念事業
- 7 平成25年3月期
業績のご報告
- 9 資産健全化と再生支援
- 10 トピックス
- 11 ちばぎんグループのCSR
- 13 財務諸表(連結)
- 15 財務諸表(単体)
- 17 株式の状況
- 18 ちばぎんネットワーク



創立70周年を迎えて

千葉銀行は、昭和18年3月31日に千葉合同銀行、小見川農商銀行、第九十八銀行の3行が合併して誕生し、本年3月に創立70周年を迎えました。

これもひとえに、お客さまや地域の皆さま方からの温かいご支援、
永年に亘るご愛顧の賜物と、深く感謝申し上げます。

今後も、お客さま第一主義のもと、地域のお客さま、地域社会など全ての方々の
ご期待にお応えできるよう、役職員一丸となり、これまで以上に努力してまいります。

70年の歩み

- | | |
|-----------|-------------------------------------|
| 昭和18年 3月 | 千葉合同銀行、小見川農商銀行、第九十八銀行の3行が合併し、千葉銀行創立 |
| 昭和39年 2月 | 「ひまわり」をバンクフラワーに制定 |
| 昭和45年 10月 | 東京証券取引所市場第二部に株式市場（昭和46年8月市場第一部に指定） |
| 昭和48年 3月 | 本店を現所在地へ新築・移転 |
| 昭和61年 10月 | 邦銀初の女性支店長誕生 |
| 昭和62年 4月 | ニューヨーク支店を開設 |
| 平成 元年 4月 | 香港支店を開設 |
| 平成 3年 2月 | ロンドン支店を開設 |
| 平成 7年 11月 | 上海駐在員事務所を開設 |
| 平成10年 3月 | 中央証券(株)（現ちばぎん証券(株)）を子会社化 |
| 平成16年 10月 | 個人向け多機能相談型店舗「ちばぎんコンサルティングプラザ千葉」開設 |
| 平成18年 12月 | 障がい者雇用特例子会社「ちばぎんハートフル(株)」設立 |
| 平成23年 3月 | シンガポール駐在員事務所を開設 |
| 平成25年 3月 | 創立70周年を迎える |





谷岡恵里子さん(インタビュー)

東京都出身。昭和女子大学卒業。平成21年に千葉テレビ放送入社。現在はフリーアナウンサーとして活躍中。

取締役頭取 佐久間 英利

昭和51年当行入行。市場営業部長、経営企画部長を歴任し、平成15年6月取締役就任、平成21年3月取締役頭取に就任。

創立70周年を迎えて

インタビュー：千葉銀行は今年、創立70周年を迎えたそうですね。

頭取：当行は、昭和18年(1943年)3月31日に千葉合同銀行、小見川農商銀行、第九十八銀行の3行が合併して設立され、この平成25年(2013年)3月に創立70周年を迎えることができました。

これもひとえにお客さま、株主の皆さま、地域社会の皆さまのご支援とご愛顧の賜物であり、役員一同、心より感謝申し上げます。

インタビュー：様々な記念事業を実施しているそうですね。

頭取：70周年を迎えるにあたり、皆さまに対する感謝の気持ちをお伝えするため、様々な取組みを実施しています。

平成25年3月期は、記念配当として期末配当金を一株当たり1円増配して6円50銭とし、年間では12円とさせていただきます。

また、千葉県の金融史に関する展示や金融教育の場として「ちばぎん金融資料室」を設置したほか、山武市蓮沼での「森林整備活動」や「移動採血車」の寄贈、「ちばぎんひまわりコンサート」の開催などの記念事業を実施しました。

最近の経済環境について

インタビュー：千葉県を取り巻く経済動向について教えてください。

頭取：我が国経済は、一部に弱さが残るものの、政権交代後の政府・日銀の金融・財政政策への期待感から消費者マインドが改善していることもあり、持ち直しに向けた動きが出てきています。

加えて、千葉県では、引き続き数多くの開発プロジェクトが予定されています。今年4月には圏央道の木更津東-東金間が開通し、内房と外房が高速道路でつながりました。また、昨年オープンした木更津のアウトレットモールは東京や神奈川からも多数の来場者を集め順調な滑り出しを見せているほか、今年も酒々井でアウトレットモールがオープンするなど、大型商業施設の開業が続いています。

このように、千葉県では複数の大規模プロジェクトが同時進行しており、地域の持つポテンシャルは極めて高いと思います。

平成25年3月期決算について

インタビュー：平成25年3月期の決算については、いかがでしたでしょうか。

頭取：まず、単体決算についてですが、国内貸出金は前期末比3,062億円増加し7兆8,113億円、国内預金は前期末比2,617億円増加し9兆5,372億円と、ともに順調に増加しました。これにより、経常利益は前期比46億円増加の664億円、当期純利益は、前期比52億円増加の412億円となりました。

連結決算については、連結経常利益が前期比58億円増加の727億円、連結当期純利益が前期比33億円増加の441億円となりました。

また、総自己資本比率は連結14.05%、単体13.21%となり、引き続き高い健全性を維持しています。

地域とともに成長を続ける千葉銀行に

インタビュー：千葉銀行の現状の課題とその対応について教えてください。

頭取：当行では、地域経済の復興・発展に積極的に貢献するとともに、将来の環境変化に耐えうる磐石な営業基盤や経営基盤、収益力を構築していくことを目指し、平成23年4月から平成26年3月までを実施期間として、第11次中期経営計画「フロンティア70」に取り組んでいます。

法人のお客さまに対しては、引き続き、円滑な資金供給に注力するとともに、法人営業部に設置した「成長ビジネスサポート室」が中心となり、医療、介護、農業、環境といった成長分野への進出を支援する取組みを強化しています。

法人オーナーや富裕層のお客さまに対しては、法人営業部に「ウエルスマネジメントグループ」を新設し、資産運用や事業承継、相続対策に関する提案力を一層強化しました。

個人のお客さまに対しては、幅広い資産運用ニーズにお応えするため、引き続き商品ラインアップの充実に努めたほか、証券子会社「ちばぎん証券」との連携を強化し、証券の持つ豊富な商品力やノウハウの活用を進めました。

また、教育ローンやマイカーローン、カードローンなどの無担保ローンについて、お電話でお気軽にご相談いただける土日営業のコールセンター「ちばぎんローンダイレクト」を設置しました。

さらに、お客さまにより便利にご利用いただけるよう、店舗ネットワークの拡充にも取り組んでいます。平成24年度は「つくば支店」を守谷支店内にオープンしたほか、老朽化の進んだ「大阪支店」「東金支店」「鴨川支店」を移転・建替えました。

「お客さま第一主義」で、力強い成長を

インタビュー：「お客さま第一主義」を大切にされているそうですね。

頭取：当行が70周年を迎えることができたのも、お客さまが支えてくださったからこそです。「お客さま第一主義」は、当行の経営の基本であり、常にお客さまの求める価値を追い求め、あるべき姿を目指して変化し続ける銀行でありたいと思っています。

第11次中期経営計画「フロンティア70」

(計画期間：2011年4月1日～2014年3月31日)

お客さま第一主義の下、地域のお客さまのご期待に応えうる創造性に溢れた「リテールトップバンク」を目指します。

課題Ⅰ：営業態勢の強化

地域における当行の存在感を圧倒的なものとするため、営業担当者の役割の明確化や提案力の強化、積極的な営業展開により、シェアの向上を図ります。

課題Ⅱ：地域経済への積極的な貢献

金融円滑化への取組みに加え、地域情報の発信機能の向上や産官学連携に向けた主体的な取組みをつうじ、地域経済の復興・発展に向けた貢献を積極的に行います。

課題Ⅲ：経営管理態勢の高度化

コンプライアンスの徹底やリスク管理態勢の高度化により、強固な経営基盤を構築します。さらに生産性向上や大胆なコスト削減を進め、当期純利益の引上げを図ります。

課題Ⅳ：人材育成の充実

研修に加え効果的なOJTを実施するなど、人材育成の手法を改善・充実させます。さらに、職員のスキル・適性に応じた配置や女性職員の登用を積極的に行い、組織力を高めます。

当行は、平成25年3月31日に創立70周年を迎えました。日頃の皆さまのご支援・ご愛顧にお応えするため、地域社会への貢献を中心とした様々な記念事業を実施しています。



■ちばぎん金融資料室の開設 平成25年4月

千葉駅前に「ちばぎん金融資料室」を開設しました。当行と前身銀行を中心とした金融史や、発展を遂げてきた千葉県の姿を展示・紹介するとともに、お金について楽しく学べるコーナーを用意するなど、お子さま連れでも楽しんでいただける展示内容となっています。



オープン時間：10時～17時(最終入室時間16時30分)
 休室日：月曜日(祝日の場合は翌火曜日) 年末年始(12/31～1/3)
 その他、臨時休室あり(詳しくはホームページをご覧ください)
 入場料：無料
 予約等：不要(10名以上でお越しの場合、事前にご連絡をお願いします)
 所在地：千葉市中央区富士見2-3-1(塚本大千葉ビル2F)
 お問い合わせ先：ちばぎんみらい財団* TEL：043-216-5204

※公益財団法人 ちばぎんみらい財団
 創立10周年を記念して設立した「財団法人 千葉県福祉財団」を創立70周年を契機に改組。地域の発展に一層貢献することを目的として設立。
 ちばぎん金融資料室の運営・管理事業のほか、中小企業等従業員の海外視察派遣事業や県内幼稚園でのオーケストラ公演などの事業を実施予定。

■ちばぎんひまわりコンサートの開催

地域のお客さまと音楽をつうじてふれあうことを目的に、平成元年より「ちばぎんひまわりコンサート」を開催してまいりました。

昨年11月及び本年4月には、これまでの皆さまの温かいご支援・ご愛顧への感謝を込め、70周年記念コンサートを開催しました。ホール内は美しい音色で包まれ、ご来場の皆さまに魅力あふれるステージをお楽しみいただきました。

平成24年11月
平成25年4月



開催日：平成24年11月17日
 ゲスト：小松亮太さん
 (バンドネオン奏者)

開催日：平成25年4月13日
 ゲスト：東京フィルハーモニー交響楽団(管弦楽)
 (フルオーケストラ・クラシック・コンサート)

■「ちばぎんの森(第4)」森林整備活動の開始 平成25年2月



山武市蓮沼にて、松くい虫や津波の被害により失われつつある海岸保安林の再生を目的に「ちばぎんの森(第4)」森林整備活動を開始しました。当日は、役職員・OBのほか山武市の皆さまにもご協力いただき、総勢約600名でクロマツやオオシマザクラ等の苗木5,000本を植樹しました。

■移動採血車の寄贈 平成25年3月

日本赤十字社千葉県支部が千葉県赤十字血液センターとともに行う「千葉県内での献血受入基盤強化に向けた取組み」に賛同し、移動採血車「ひまわり号」を寄贈しました。「ひまわり号」初めてとなる採血は、寄贈日当日に当行本店にて行われ、多くの職員が参加しました。



■ちばぎんひまわり寄席の開催 平成25年3月

地域のお客さまに「笑い」をお届けする取組みとして、「ちばぎんひまわり寄席」を新たに開催しました。今回は、落語界で圧倒的な人気を誇る「柳家喬太郎師匠」と「古今亭菊之丞師匠」をお招きし、江戸時代から続く、日本の良い伝統芸能をお楽しみいただきました。真打2人の高座に会場内は笑いで包まれ、ご来場の皆さまからは、「初めて落語を聴いたが、とても楽しかった」「落語がますます好きになった」といった感想をいただきました。



古今亭菊之丞師匠



柳家喬太郎師匠

■通帳・ICキャッシュカードのリニューアル 平成25年4月



スーパー総合口座通帳(汎用)

通帳・ICキャッシュカードのデザインを全面的にリニューアルしました。また、スーパー総合口座通帳の中面には、視認性の高いカラーユニバーサルデザイン※を採用して見やすさを向上するとともに、各通帳とも環境に配慮したベジタブルインキを使用し、人と環境にやさしい通帳になりました。



ICキャッシュカード(汎用)

※カラーユニバーサルデザイン：色覚の個人差を問わず、多くの方に見やすいよう配慮されたデザイン。

その他の70周年記念事業

■中小企業向け助成制度の創設 平成24年10月

千葉県産業の発展・活性化に向け、千葉大学または千葉工業大学と共同で研究開発を行う中小企業を対象に、研究開発費の一部を助成する「ちばぎん・研究開発助成制度」を創設しました。

■「ちばぎんひまわり憩いの広場」の新設 平成25年2月

JR木更津駅東口に移転した木更津支店の敷地を活用した地域貢献事業として、店舗外ATMや駐車場に加え、地域イベントの開催場所として活用できる多目的広場を整備しました。

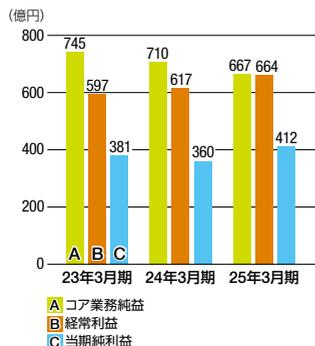
■学生版ビジネスアイデアコンテストの実施 平成25年3月

千葉県在住・在学または、将来県内に起業を希望している学生を対象に、地域活性化に繋がるビジネスアイデアを募集し、44組の応募の中から、優秀賞1プラン、奨励賞2プランを選定し表彰しました。



損益の状況

損益の状況



役員取引等利益などが増加した一方、運用利回りの低下による資金利益が減少したことなどから、債券関係損益を除いたコア業務純益は前期比43億円減少し667億円となりました。また、有価証券関係損益の改善などにより、経常利益は前期比46億円増加し664億円となり、当期純利益は前期比52億円増加し412億円となりました。なお、連結経常利益は727億円、連結当期純利益は441億円となりました。

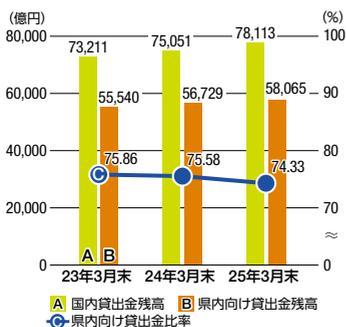
用語解説

コア業務純益

「コア業務純益」とは、「貸出業務や預金業務といった銀行の本来的な業務から生じた利益を示す「業務純益」から、一時的な変動要因である「国債等債券関係損益」や「一般貸倒引」当金純繰入額」を除いた指標です。

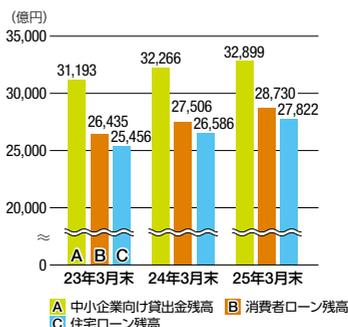
貸出金等の状況

貸出金の状況



地域のお客さまの資金ニーズに積極的にお応えした結果、中小企業向け貸出金や住宅ローンが堅調に推移し、国内貸出金残高は前期末比3,062億円増加し7兆8,113億円となり、県内向け貸出金残高は前期末比1,335億円増加し5兆8,065億円となりました。

中小企業向け貸出金・消費者ローンの状況



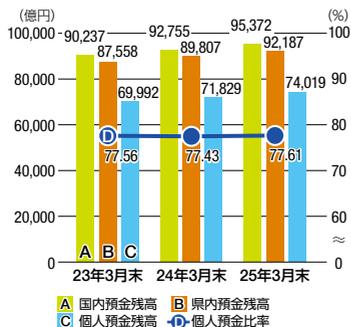
金融円滑化に向けた取組みに加え、中小企業のお客さまへのコンサルティング機能の強化に努めました結果、中小企業向け貸出金残高は前期末比632億円増加し3兆2,899億円となりました。

また、新規出店による営業地域の拡大効果や、お客さまの住宅資金ニーズに積極的にお応えした結果、住宅ローン残高は前期末比1,236億円増加し2兆7,822億円となりました。

※中小企業には個人事業主も含めております。

預金等の状況

預金の状況



預金につきましては、給与振込口座や年金受取口座など「家計のメインバンク」としてご利用いただくことを目指して活動しました結果、個人預金残高は前期比で2,190億円増加し、7兆4,019億円となりました。

投資型金融商品の状況



お客さまのご要望に応じた商品提案を行いました結果、投資信託の販売額は、前期比545億円増加し1,675億円となりました。また、個人年金保険の取扱保険料は、前期比228億円減少し1,721億円となりました。

自己資本比率の状況

当行の総自己資本比率は連結で14.05%、単体で13.21%となりました。これは、平成25年3月末に導入されたバーゼルIII基準の自己資本比率規制において、海外に営業拠点を持つ銀行に求められる最低水準である8%に加えて、平成31年3月末までに満たすこととされている最低水準10.5%を上回っています。また、普通株式等Tier1比率についても、連結で12.90%、単体で12.24%と、バーゼルIIIの最低水準3.5%を上回っています。

平成25年3月末 自己資本比率の状況

	連結	単体
総自己資本比率	14.05%	13.21%
Tier1比率	12.90%	12.24%
普通株式等Tier1比率	12.90%	12.24%

用語解説

バーゼルIII

リーマンショック時に発生した世界的な金融危機を教訓に、金融機関の損失吸収力の強化や過度なリスクテイクの抑制を図り、金融機関の健全性を維持するために導入された新たな規制の枠組みです。金融機関に対し、投資や融資などの損失を被る恐れのある「リスク資産」に対して、自己資本を一定割合(最低水準)以上持つように義務づけています。

普通株式等Tier1比率

中核的自己資本(Tier1資本)のうち、より資本としての質が高く、損失吸収力が高いとされる普通株式や内部留保などによって構成される部分を普通株式等Tier1資本といい、バーゼルIIIでは、総自己資本比率やTier1比率だけでなく、普通株式等Tier1比率についても最低水準が定められました。

金融再生法開示債権の状況

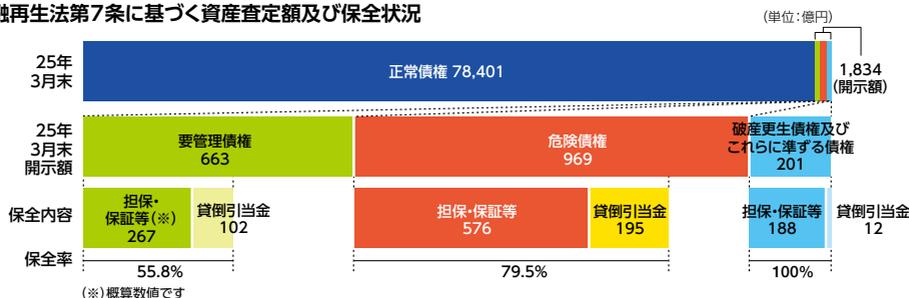
平成25年3月末時点の金融再生法開示債権残高は1,834億円となり、不良債権比率は2.28%となっています。

引き続き営業店と本部、さらに中小企業再生支援協議会などの外部機関とも連携しながら、お客さまの経営改善に向けた取組みの支援を進めてまいります。

不良債権の推移



金融再生法第7条に基づく資産査定額及び保全状況



用語解説

要管理債権

「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」を除く3カ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権です。

危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性が高い債権です。

破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

金融円滑化に向けた取組み

当行は、地域金融機関として金融サービスの提供をつうじて、地域のお客さまのニーズにお応えし、地域の発展に貢献するという役割・使命を果たす姿勢を堅持しています。特に、地域への円滑な資金供給をはじめとする金融仲介機能の強化やお客さまへの経営健全化支援等による地域密着型金融の実践については、従来から最も重要な経営課題として位置づけ、各種施策に積極的に取り組んでまいりました。

このようななか、現在の厳しい経済・雇用環境や、お客さまのお借入負担の状況などに鑑み、より一層お客さまの声に真摯に耳を傾け、適切にお客さまのご相談に対応してまいります。また、中期経営計画にも掲げる「お客さま第一主義」を徹底し、今後もコンサルティング機能を発揮した営業展開を実践してまいります。

店舗移転オープンのご紹介

大阪支店 平成24年12月



大阪支店を御堂筋沿いの「NMプラザ御堂筋ビル」10階に移転しました。千葉県と関西との橋渡し役として、お客さまに様々な情報・サービスを提供してまいります。

東金支店 平成25年1月



東金支店をJR東金駅の東側に移転しました。車でも気軽に来店いただけるよう約40台分の駐車場を備えました。

鴨川支店 平成25年3月



鴨川支店をJR安房鴨川駅の東口正面に移転しました。また、平成25年6月には、市内の天津支店を鴨川支店内に「店舗内店舗」として移転しました。

Web-EBのリニューアル

平成25年2月、法人向けインターネットバンキング「ちばぎんインターネットEBサービス<Web-EB>」を全面リニューアルしました。基本サービスにおける機能を拡充したほか、不正利用被害時の補償保険限度額を500万円から1,000万円に引き上げるなど、より安心してご利用いただけるようになりました。

基本サービスの機能拡充

項目		リニューアル前	リニューアル後
サービス時間	照会・振込等	平日 8:45 ~ 21:00	平日 8:00 ~ 23:50
	データ伝送サービス	平日 8:45 ~ 21:00 休日 8:45 ~ 18:00	平日 8:00 ~ 23:50 休日 8:00 ~ 19:00
入出金明細・振込入金明細の照会期間		当日を含む7営業日	当日を含む30営業日
受付時間経過後の振込データの切替		機能なし	給与振込⇒総合振込 総合振込⇒振込・振替
振込・振替先のグループ設定	登録グループ数	機能なし	20グループ
	グループ名設定	機能なし	可能

「インターネットサービス」の取扱い～キャッシュカードで残高照会～

平成25年3月より、普通預金のキャッシュカードをお持ちの個人のお客さま向けに、パソコン・スマートフォン・携帯電話で残高照会や取引明細照会等のサービスをご利用いただける「インターネットサービス」の取扱いを開始しました。店番号、口座番号、お名前、キャッシュカードの暗証番号等の入力により、簡単にご利用いただけます。

※本サービスを初めてご利用いただく際には、「サービス利用登録」の操作が必要となります。



「ちばぎんでんさいサービス」の取扱い

株式会社全銀電子債権ネットワーク(でんさいネット)の開業にあわせ、平成25年2月より、「ちばぎんでんさいサービス」の取扱いを開始しました。でんさい^{*}の発生や譲渡等の基本的な取引のほか、でんさい割引やでんさい担保の与信取引等にも対応しており、お客さまの資金決済が円滑に行えます。

本サービスは、「ちばぎんインターネットEBサービス<Web-EB>」のオプションサービスとしてご利用いただけます。

※「でんさい」とは、手形・指名債権(売掛債権等)の問題点を克服した新たな金銭債権です。従来の手形と比べ、印紙税が課税されないこと、ペーパーレス化により保管・管理のコストが削減されることなどのメリットがあります。

あなたに、全力。 ちばぎんグループのCSR。

ちばぎん
未来を育む
宣言

ちばぎんグループにおける取組み

ちばぎんグループは、本業等をつうじて全てのステークホルダーの皆さまからの期待にお応えするとともに、持続可能な地域社会の実現に貢献できるよう「グループCSR活動方針」を掲げ、グループ役職員一丸となってCSR活動に取り組んでいます。

「ちばエネルギーエコ宣言事業所」への第1号登録



平成25年4月、当行の本店は千葉県より「ちばエネルギーエコ宣言事業所」として県内第1号登録を受けました。

これは、クールビズ・節電ビズや森林整備活動の実施、電気自動車の導入等の環境保全への取組みが評価されたものです。今後も、地球温暖化対策や節電等、環境に配慮した取組みを積極的に推進してまいります。

ちばぎんカップ

平成25年2月、Jリーグのプレシーズンマッチ「第19回ちばぎんカップ 柏レイソルVSジェフユナイテッド市原・千葉」が開催されました。本大会では、障がいをお持ちの方約300名をご招待し、白熱した試合を観戦していただきました。また、震災復興支援イベントとして、福島県より小学生をご招待し、千葉県の小学生とサッカー交流試合を開催しました。



金融教育への取組み



地域の小・中・高校生を対象に、本店及び支店にて職場体験の受入れを行っています。銀行業務の解説をはじめ、店内・ATMコーナーの見学やビジネスマナー体験等を実施しています。

また、平成24年12月から平成25年3月にかけて、地域の小学生を対象に金融教育講座「ちばプラザ・子ども塾」を開催し、子どもたちに銀行の役割や将来の夢などを考えるきっかけとしていただきました。

平成25年4月には、千葉県の金融史やお金について楽しく学んでいただける「ちばぎん金融資料室」を開設しました。(詳細は5ページ)

公益信託「ちばぎんハートフル福祉基金」

公益信託「ちばぎんハートフル福祉基金」は、千葉県内に活動拠点を置く社会福祉法人・ボランティア団体等の皆さまが行う社会福祉活動を、資金面からお手伝いするものです。平成24年度までの助成先累計は37先、交付総額は約19百万円となりました。



各種商談会・セミナーの開催

お客さまの販路拡大を目的とした商談会や、各業種における事業戦略・経営課題解決をテーマとしたセミナーを積極的に開催しています。

● ちばぎん省エネ・ECOセミナー
(平成24年9月)



太陽光発電事業の魅力と参入に係る留意点等をテーマとしたセミナー及び、施工業者等との商談会

● FOOD EX JAPAN 2013
(平成25年3月)



幕張メッセで開催されたアジア最大級の食品・飲料の展示商談会(千葉県ブースは22社出展)

● ちばぎんマルシェ
(平成25年5月)



稲毛海浜公園で開催された千葉県農産品販売フェア(当行お取引先は20社出展)

海外事業支援体制の強化

当行では、貿易取引や海外進出など事業のグローバル化を進めるお客さまの支援体制を強化するため、外国銀行等との業務提携や、海外事業に関するセミナー・商談会を積極的に行っています。

平成25年3月には、香港貿易発展局と業務提携を行い、現地バイヤー等との個別マッチングの実施や、香港貿易発展局と連携した商談会の開催が可能となりました。



海外進出セミナー
(平成25年3月)



■ 連結貸借対照表 (単位: 百万円)

科目	平成24年3月末	平成25年3月末
(資産の部)		
現金預け金	473,117	442,958
コールローン及び買入手形	74,621	227,511
買現先勘定	29,992	29,994
買入金銭債権	30,995	24,778
特定取引資産	327,044	285,577
金銭の信託	28,899	41,190
有価証券	2,106,492	2,174,866
貸出金	7,554,923	7,886,033
外国為替	2,205	6,386
その他資産	93,810	92,614
有形固定資産	98,567	98,639
建物	22,897	24,439
土地	65,817	65,909
建設仮勘定	2,089	2,268
その他の有形固定資産	7,763	6,021
無形固定資産	10,221	10,621
ソフトウェア	6,716	7,938
その他の無形固定資産	3,504	2,683
繰延税金資産	34,506	14,513
支払承諾見返	101,464	93,586
貸倒引当金	△ 50,101	△ 55,531
資産の部合計	10,916,760	11,373,741

科目	平成24年3月末	平成25年3月末
(負債の部)		
預金	9,338,244	9,628,118
譲渡性預金	301,371	298,512
コールマネー及び売渡手形	34,095	54,172
債券貸借取引受入担保金	77,347	74,402
特定取引負債	29,403	30,352
借入金	162,635	280,672
外国為替	229	358
社債	40,000	20,000
その他負債	132,840	127,911
退職給付引当金	19,531	19,490
役員退職慰労引当金	228	199
睡眠預金払戻損失引当金	1,522	1,850
ポイント引当金	397	388
特別法上の引当金	17	15
繰延税金負債	113	1,225
再評価に係る繰延税金負債	13,240	13,240
支払承諾	101,464	93,586
負債の部合計	10,252,684	10,644,497
(純資産の部)		
資本金	145,069	145,069
資本剰余金	123,591	122,134
利益剰余金	376,039	401,813
自己株式	△ 8,480	△ 7,581
株主資本合計	636,220	661,435
その他有価証券評価差額金	13,268	51,396
繰延ヘッジ損益	△ 1,549	△ 1,167
土地再評価差額金	9,393	9,983
その他の包括利益累計額合計	21,112	60,212
新株予約権	231	277
少数株主持分	6,511	7,317
純資産の部合計	664,076	729,243
負債及び純資産の部合計	10,916,760	11,373,741

■ 連結損益計算書 (単位：百万円)

科目	(平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)	(平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)
	平成24年3月期	平成25年3月期
経常収益	222,014	222,704
資金運用収益	146,549	141,545
貸出金利息	126,162	121,364
有価証券利息配当金	18,764	18,990
コールローン利息及び買入手形利息	158	282
買現先利息	32	32
債券貸借取引受入利息	—	0
預け金利息	947	474
その他の受入利息	484	401
信託報酬	1	1
役務取引等収益	40,445	42,120
特定取引収益	1,987	2,391
その他業務収益	5,979	6,344
その他経常収益	27,052	30,302
貸倒引当金戻入益	2,161	—
償却債権取立益	3,274	3,615
その他の経常収益	21,615	26,686
経常費用	155,071	149,945
資金調達費用	11,644	11,234
預金利息	5,690	4,777
譲渡性預金利息	262	373
コールマネー利息及び売渡手形利息	140	264
売現先利息	4	2
債券貸借取引支払利息	184	213
借入金利息	1,023	1,035
社債利息	735	693
その他の支払利息	3,603	3,873
役務取引等費用	15,495	15,723
特定取引費用	—	3
その他業務費用	3,193	841
営業経費	88,381	88,943
その他経常費用	36,355	33,199
貸倒引当金繰入額	—	9,794
その他の経常費用	36,355	23,405
経常利益	66,943	72,759

科目	(平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)	(平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)
	平成24年3月期	平成25年3月期
特別利益	3,421	26
固定資産処分益	12	24
負ののれん発生益	3,408	—
金融商品取引責任準備金取崩額	0	2
特別損失	879	755
固定資産処分損	740	569
減損損失	139	185
税金等調整前当期純利益	69,485	72,030
法人税、住民税及び事業税	20,579	26,864
法人税等調整額	7,417	119
法人税等合計	27,997	26,984
少数株主損益調整前当期純利益	41,487	45,046
少数株主利益	716	894
当期純利益	40,770	44,152

財務諸表(単体)

■ 貸借対照表 (単位: 百万円)

科目	平成24年3月末	平成25年3月末	科目	平成24年3月末	平成25年3月末
(資産の部)			(負債の部)		
現金預け金	472,367	442,128	預金	9,376,500	9,636,831
現金	103,430	100,209	当座預金	191,609	194,318
預け金	368,936	341,919	普通預金	5,355,091	5,585,727
コールローン	69,621	224,011	貯蓄預金	241,022	239,419
買現先勘定	29,992	29,994	通知預金	6,465	6,423
買入金銭債権	21,468	15,294	定期預金	3,443,395	3,454,199
特定取引資産	326,779	284,594	その他の預金	138,916	156,742
商品有価証券	9,957	8,035	譲渡性預金	301,371	333,012
商品有価証券派生商品	6	—	コールマネー	34,095	54,172
特定金融派生商品	29,829	31,142	債券貸借取引受入担保金	77,347	74,402
その他の特定取引資産	286,985	245,416	特定取引負債	29,403	30,352
金銭の信託	25,799	36,890	商品有価証券派生商品	—	7
有価証券	2,111,610	2,176,011	特定金融派生商品	29,403	30,344
国債	1,064,937	1,081,313	借入金	161,682	279,349
地方債	361,251	365,217	借入金	161,682	279,349
社債	224,898	213,044	外国為替	229	358
株式	142,381	175,707	売渡外国為替	194	332
その他の証券	318,142	340,728	未払外国為替	35	25
貸出金	7,581,708	7,912,140	社債	40,000	20,000
割引手形	24,531	22,490	その他負債	95,650	87,407
手形貸付	163,012	153,460	未決済為替借	1,453	945
証書貸付	6,845,619	7,146,055	未払法人税等	8,811	15,311
当座貸越	548,543	590,134	未払費用	10,380	9,985
外国為替	2,205	6,386	前受収益	2,297	2,128
外国他店預け	1,163	4,742	先物取引差金勘定	6	—
買入外国為替	585	830	金融派生商品	13,205	15,093
取立外国為替	456	813	金融商品等受入担保金	1,436	1,834
その他資産	47,752	44,710	資産除去債務	227	225
未決済為替貸	0	—	その他の負債	57,831	41,883
前払費用	73	83	退職給付引当金	19,011	18,936
未収収益	10,677	13,526	睡眠預金払戻損失引当金	1,522	1,850
先物取引差入証拠金	54	54	ポイント引当金	145	143
先物取引差金勘定	—	8	再評価に係る繰延税金負債	13,240	13,240
金融派生商品	10,014	3,865	支払承諾	78,052	73,438
金融商品等差入担保金	1,392	2,878	負債の部合計	10,228,252	10,623,495
その他の資産	25,539	24,292			
有形固定資産	93,301	93,529	(純資産の部)		
建物	21,341	23,034	資本金	145,069	145,069
土地	62,898	63,040	資本剰余金	122,678	122,134
建設仮勘定	2,070	2,198	資本準備金	122,134	122,134
その他の有形固定資産	6,990	5,256	その他資本剰余金	544	—
無形固定資産	10,067	10,474	利益剰余金	349,589	371,544
ソフトウェア	6,576	7,795	利益準備金	50,930	50,930
その他の無形固定資産	3,491	2,678	その他利益剰余金	298,659	320,614
繰延税金資産	27,043	6,982	固定資産圧縮積立金	33	33
支払承諾見返	78,052	73,438	別途積立金	260,971	275,971
貸倒引当金	△ 39,255	△ 44,200	繰越利益剰余金	37,654	44,609
資産の部合計	10,858,514	11,312,385	自己株式	△ 8,038	△ 7,581
			株主資本合計	609,298	631,166
			その他有価証券評価差額金	12,888	48,629
			繰延ヘッジ損益	△ 1,549	△ 1,167
			土地再評価差額金	9,393	9,983
			評価・換算差額等合計	20,732	57,445
			新株予約権	231	277
			純資産の部合計	630,262	688,889
			負債及び純資産の部合計	10,858,514	11,312,385

■ 損益計算書 (単位：百万円)

科目	(平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)	(平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)
	平成24年3月期	平成25年3月期
経常収益	200,156	196,854
資金運用収益	146,163	141,334
貸出金利息	125,491	120,883
有価証券利息配当金	19,184	19,389
コールローン利息	152	277
買現先利息	32	32
債券貸借取引受入利息	—	0
預け金利息	947	473
その他の受入利息	356	278
信託報酬	1	1
役務取引等収益	32,428	33,591
受入為替手数料	7,426	7,427
その他の役務収益	25,001	26,164
特定取引収益	1,445	1,326
商品有価証券収益	222	121
特定金融派生商品収益	804	845
その他の特定取引収益	418	359
その他業務収益	5,975	6,338
外国為替売買益	1,479	1,447
国債等債券売却益	4,128	4,695
金融派生商品収益	366	195
その他の業務収益	0	0
その他経常収益	14,140	14,262
貸倒引当金戻入益	4,937	—
償却債権取立益	3,249	3,592
株式等売却益	326	2,424
金銭の信託運用益	377	885
その他の経常収益	5,250	7,360

科目	(平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)	(平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)
	平成24年3月期	平成25年3月期
経常費用	138,387	130,409
資金調達費用	11,628	11,216
預金利息	5,703	4,778
譲渡性預金利息	262	383
コールマネー利息	140	264
売現先利息	4	2
債券貸借取引支払利息	184	213
借入金利息	1,019	1,032
社債利息	735	693
金利スワップ支払利息	2,961	3,453
その他の支払利息	615	393
役務取引等費用	17,913	18,104
支払為替手数料	1,471	1,460
その他の役務費用	16,442	16,644
特定取引費用	—	3
特定取引有価証券費用	—	3
その他業務費用	3,193	841
国債等債券売却損	285	501
国債等債券償還損	2,889	283
国債等債券償却	17	56
営業経費	83,329	83,987
その他経常費用	22,322	16,256
貸倒引当金繰入額	—	6,832
貸出金償却	9,626	4,921
株式等売却損	8,673	17
株式等償却	871	1,442
金銭の信託運用損	432	0
その他の経常費用	2,719	3,042
経常利益	61,768	66,444
特別利益	7	24
固定資産処分益	7	24
特別損失	798	591
固定資産処分損	691	507
減損損失	107	84
税引前当期純利益	60,977	65,877
法人税、住民税及び事業税	17,974	24,190
法人税等調整額	6,994	461
法人税等合計	24,969	24,651
当期純利益	36,007	41,225

株式の状況

株式の所有者別状況

平成25年3月31日現在

区分	株主数 (人)	所有株式数 (単元)	割合 (%)	
政府・地方公共団体	2	9	0.00	
金融機関	109	379,433	43.57	
金融商品取引業者	35	19,470	2.24	
その他の法人	1,283	135,260	15.53	
外国法人等	個人以外	397	202,099	23.20
	個人	—	—	—
個人その他	24,748	134,630	15.46	
計	26,574	870,901	100.00	

- (注) 1. 1単元の株式数は1,000株です。なお、上記のほか、単元未満株式は4,620,087株となっております。
 2. 自己株式15,554,829株は「個人その他」に15,554単元、単元未満株式に829株含まれております。なお、自己株式15,554,829株は株主名簿上の株式数であり、期末日現在の実質的な所有株式数は15,553,829株です。
 3. 「その他の法人」の欄には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が2単元含まれております。

事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会

毎年6月

基準日

定時株主総会の議決権：毎年3月31日

期末配当：毎年3月31日

中間配当：毎年9月30日

公告方法

電子公告

(当行ホームページ <http://www.chibabank.co.jp/>)

ただし、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株式事務取扱場所

株主名簿管理人・事務取扱場所

〒103-8202

東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号

日本証券代行株式会社 本店

お問い合わせ先 ☎0120-707-843

大株主上位10名

平成25年3月31日現在

株主名	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式 数の割合(%)
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	47,314	5.40
株式会社三菱東京UFJ銀行	35,414	4.04
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	35,303	4.03
日本興亜損害保険株式会社	29,998	3.42
日本生命保険相互会社	29,270	3.34
第一生命保険株式会社	26,230	2.99
住友生命保険相互会社	17,842	2.03
明治安田生命保険相互会社	15,891	1.81
千葉銀行職員持株会	12,795	1.46
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口9)	12,581	1.43

- (注) 1. 上記の他、株式会社千葉銀行名義の自己株式15,553千株(1.77%)があります(株主名簿上は、株式会社千葉銀行名義となっておりますが、実質的に所有していない株式1千株を除く)。
 2. 所有株式数は千株未満を切り捨てております。
 3. 発行済株式総数に対する所有株式数の割合は小数点第3位以下を切り捨てております。

株主優待制度

対象株主 毎年3月31日現在、1,000株(1単元)
以上保有の株主

株主優待制度の内容

オリジナルカタログ(毎年6月送付予定)から千葉県の特産品等または当行及びちばぎんグループの金融商品・サービスの優待*が受けられる株主優待クーポンのいずれかを、保有株数に応じて、お選びいただけます。

保有株数	1,000株以上 10,000株未満	10,000株以上
優待商品	千葉県の特産品等 3,000円相当または 株主優待クーポン1枚	千葉県の特産品等 6,000円相当または 株主優待クーポン2枚

*金融商品・サービスの優待は次の1~5のいずれか1つをお選びいただけます。

- 定期預金1年もの店頭表示金利(年)0.2%上乘せ(1枚につき1回限り、500万円が上限)
- 外国通貨両替手数料20%割引(1枚につき1回限り、割引後レートで日本円100万円相当分のご両替が上限)
- 遺言信託引受予諾手数料20%割引
- ちばぎん証券の国内上場株式売買委託手数料20%割引(1枚につき年間1万円が上限)
- ちばぎん総合研究所主催セミナー受講料20%割引(1枚につき1回限り、1万円が上限)



※平成24年10月17日に、守谷支店内に「つくば支店」を新設しました。
 なお、平成25年度中に、つくばエクスプレス「研究学園駅」付近に店舗を新築し、移転オープンする予定です。

※平成25年6月24日に、天津支を鴨川支店内に「店舗内店舗」として移転しました。

コンサルティングプラザ、ローンプラザ

コンサルティングプラザ	3か所(千葉・柏・船橋)
ローンプラザ	3か所(千葉中央・柏・船橋)



店舗・ATM情報の詳細は左記コードからアクセスして下さい。

店舗数

県内	157店舗(うち、特別出張所5店舗、出張所12店舗、仮想店舗2店舗)
県外	18店舗(東京都11店舗、大阪府1店舗、埼玉県3店舗、茨城県3店舗)
海外	3店舗(ニューヨーク、香港、ロンドン)
海外駐在員事務所	2か所(上海、シンガポール)

平成25年3月31日現在

両替出張所	3か所
自行店舗外現金自動設備	260か所(うち、県内257か所)
コンビニATM[E-net]	12,640か所(うち、県内710か所)
セブン銀行との提携による共同ATM	16,531か所(うち、県内949か所)
ローソンとの提携によるATM	9,712か所(うち、県内385か所)



昭和28年7月
本店を増改築



昭和38年9月
総預金1,000億円達成



昭和48年3月
本店を現所在地へ新築・移転



昭和57年11月
現在の「ひまわりマーク」を導入



平成4年6月
通帳・キャッシュカードのデザイン改定



平成15年3月
「ちばぎんの森」森林整備活動の開始



平成25年3月
おかげさまで創立70周年。
これからも皆さまとともに。

株式会社 千葉銀行

〒260-8720 千葉市中央区千葉港1-2
TEL.043-245-1111 (代表)
<http://www.chibabank.co.jp/>
平成25年6月発行



この印刷物は、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構により色覚の個人差を問わず、多くの方に見やすく配慮されたデザイン(カラーユニバーサルデザイン)として認証されました。

